

4. 地方からの便り

「奇跡」の社会復帰へ

大阪府 豊中市消防本部



平成16年5月12日、浜野龍一さん(52才)は勤務先の朝礼中に急性心筋梗塞で心肺停止に陥り、元看護婦の同僚が心肺蘇生法を実施されました。救急隊員が約2分後に現場に到着、心肺蘇生法及び除細動等を実施することによって、心拍を再開することに成功しました。救急要請時間から12分後のことでした。

浜野さんは、約1ヶ月の入院で後遺症もなく無事退院され、6月17日豊中市北消防署(署長 辻幸雄)に自らの足で歩いてお礼に来られました。

[▲ このページの上に戻る](#)

幼年消防クラブ地区大会の開催

宮城県 塩釜地区消防事務組合消防本部





「ワッショイ、ワッショイ」子供たちの元気な掛け声と共に、火・用・心の神輿が宙を舞いました。

去る、6月16日(水)塩釜市体育館において、当協会の共催で20周年記念となる「幼年消防クラブ地区大会」が盛大に開催されました。

塩釜地区管内の幼年消防クラブ員約900名が集まり、クラブ員全員で遊戯を行い、20周年記念にクラブ員が和太鼓を披露し大きな歓声があがっていました。



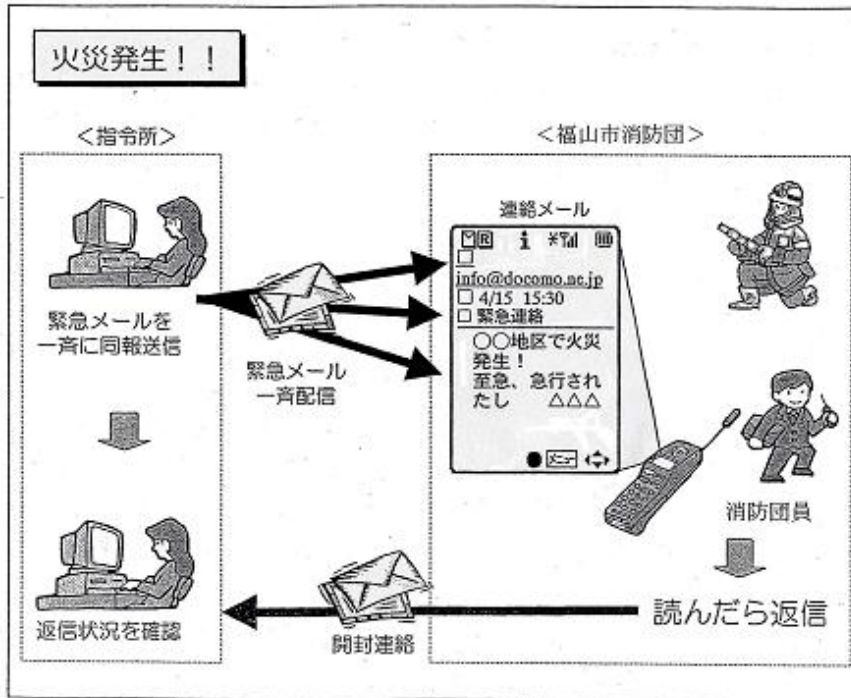
そして、消防職員のはしご乗りなどが行われました。クラブ員達は楽しい一時を過ごし、最後に全員で「火あそびはしません」と大きな声で防火を誓いました。



福山市消防団災害情報配信システム運用開始

広島県 福山地区消防組合消防局

■ 運用イメージ図



福山市消防団では、災害情報配信システム「パワフル消防団」を利用し火災時、登録団員の携帯電話に火災情報メールの一斉配信を開始しました。

これにより管内で発生した火災情報を、いち早く多くの団員に短時間で伝えられるため、便利だと好評の声が多く寄せられています。

なお、今後は団員の召集・通常連絡等に活用していく予定です。

○特徴

<長所>

- ・操作が簡単のため、短時間で連絡可能。
- ・情報を確認した人を画面表示。

<短所>

- ・インターネット回線の影響で情報連絡が遅れることがあります。

○適用例

- ・火災発生時の連絡・召集。
- ・台風、大雨等の警報発令時の連絡・召集。
- ・定例会合、会議等の連絡

岡崎市婦人自主防災クラブ員上級救命講習に取り組む!

愛知県 岡崎市消防本部



岡崎市婦人自主防災クラブは、昭和56年8月、家庭の防火管理者である婦人、自ら防災意識の高揚を図ることを目的に家庭防火と家庭救急を2本の柱とし、クラブが結成されました。

当クラブは発足以来22年が経過し、この間に協議会の活動も年々活発となり、協議会としての行事はもとより、町内会の催しや各種諸行事に積極的に参加し、婦人自主防災クラブの存在を示すとともに、市民に対する防災意識の高揚に努めてまいりました。

その中でも特に救急法の講習においては、発足当時の昭和57年から日本赤十字社の救急法救急員の適任証取得を行い、平成6年からは上級救命講習に切り替え、昨年度までの延べ受講者数は2,601人となり、クラブ員として自己の知識の向上と技術の習得はもとより、あらゆる場所でまた、いつでも即座に救命活動を行えるような体制作りをしてきました。

本年も、心肺蘇生法や止血法等を6月12日から7月20日までの間に9回実施し、172人のクラブ員が受講します。



[▲ このページの上に戻る](#)

第24回気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会大会 防火のつどいin歌津

宮城県 気仙沼・本吉地域広域消防本部



全国的に進められている市町村合併は当管内でも着実に進んでおり、来年度には今まで一緒に歩んできた津山町が隣接する登米地域8町と合併し登米市になり気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会から離脱することが決定しました。また、気仙沼市は唐桑町と本吉町との合併で気仙沼市に、志津川町と歌津町が合併して南三陸町になる新しい枠組みが進められていることから、1市5町での大会は今回が最後となったのです。

しかし、地域が違って防災への取組みに対する姿勢に変わりはなく、今後とも相互に連絡協同を図り、更なる親睦を深めていくことを誓った大会となりました。



みなながら、防火防災に対する意識の啓発を図る威勢のいい出し物も披露されるなど、各地区の防火クラブ員が唄や踊りを披露し大会を盛り上げました。

午後の講演会では、岩手県立大学の首藤伸夫教授による「津波、被害、そして対策」と題した防災講演が行われ、来るべく宮城県沖地震に備えるための、貴重な講話を聴講しました。

この大会を通じて、参加者全員が、防火意識の再認識と向上を図ることができ、さらに親睦を深め連帯感もより強固になったと思います。

特に、各クラブが工夫を凝らし発表するアトラクションでは、別れを惜しんで盛大に繰り広げられました。午後の講演会では、岩手県立大学の首藤伸夫教授の、来るべく宮城県沖地震に備えるための、貴重な講話を聴講しました。

この大会を通じて、参加者全員が、防火意識の再認識と向上を図ることができ、さらに親睦を深め連帯感もより強固になったと思います。

「防火のつどい」は、昭和56年8月に安全な地域社会づくりの願いを込め、気仙沼市・唐桑町・本吉町・志津川町・歌津町・津山町の1市5町の婦人防火クラブがひとつの輪となり構成された気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会の行事として、会の発足当時から毎年実施されております。

この大会は、各クラブ相互の連帯と親睦を図ることを目的として実施されておりますが第24回目を迎えた今回の大会は、6月27日（日）に歌津町を会場に開催しましたが、今まで以上に感慨深い大会となりました。



この大会は、家庭において火気を取り扱う機会が多い婦人が、防火、防災に関する知識を習得し、火災その他の災害から家庭を守り、安全な地域社会づくりを目指すとともに、各クラブ相互の連帯と親睦を深めることを目的として実施しています。

大会は、婦人防火クラブ員・地域住民・来賓等の550名が参加し、午前中は第1部の式典・意見発表、第2部はアトラクション、午後に講演会を実施しました。

第2部のアトラクションは、「津山町 別れても心はひとつ 火の用心」と、離れ行く津山町を惜し

水の事故に備えて 水難訓練・水防訓練を実施

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、6月9日(水)、16日(水)、23日(水)の3日間、夏本番をひかえて水による事故を想定した救急、救助訓練を実施しました。

今回の訓練は「北中通漁港内で釣り人が1人、足を滑らせて海中に転落したのを近くにいた人から携帯電話で119番通報があった。」との想定で泉佐野市りんくう消防署から高規格救急車1台、救助工作車1台、水難救助車1台、さらに関西国際空港にある泉佐野市りんくう消防署空港分署からも水難救助車1台が参加して、アクアリング装備を装着した潜水隊員2人がバディを組み2班体制の4人で水中無線や人命検索用の器具等を使い、ヘドロで視界の悪い海底を検索した後、発見した要救助者1人を救急救命士がただちに心肺蘇生処置を実施しながら医療機関へ搬送するといった一連の訓練を本番さながらに実施しました。



泉佐野市消防本部の管内では、平成14年に7件、平成15年に6件、平成16年に入ってからでも3件の水難事故が発生しています。水難事故では、要救助者の発見、救助、医療機関への搬送等、1分1秒を争うために事故を発見したら迷うことなく119番通報(携帯電話でも通報可能です)をお願いします。

また、梅雨の到来とともに、集中豪雨による出動に対応するため、6月2日(水)から4日(金)までの3日間、中消防署において水

防訓練を実施しました。

これは、大雨等により市民の皆様から、水防出動の要請があった場合、一分一秒でも早い対応ができるよう毎年実施しているもので、ビニール袋の土嚢袋に砂を詰め、土嚢を作成するなどの基本訓練から、池等の堤から漏水が見られた場合の対処方法などの技術的な訓練、また、退院相互の連携した活動方法の再確認までを含めた訓練まで実施したものです。

泉佐野消防本部・木ノ元消防長は、「ここ数年、時間的な雨が集中するケースが増え、出動要請が増えているように思う。少しでも多くの助けてほしいという期待に応えるため、市民の皆様には、これから気象情報等に十分に注意し、自らできる備えを先に実施して欲しい。」と語っていました。



▲ [このページの上に戻る](#)

危険物安全週間を前にガソリンスタンドの査察を開始

大阪府 泉佐野市消防本部



泉佐野市消防本部では、6月6日(日)から12日(土)までの一週間、全国一斉に実施される危険物安全週間に先駆け、6月1日(火)から管内のガソリンスタンドを対象に査察を開始しました。

これは、気温の上昇に伴い、可燃性蒸気等が発生しやすくなる夏期を迎えるにあたり、危険物施設における事故防止の徹底や安全管理を広く呼びかけるため、この日から7月下旬までかけ、関西国際空港の危険物施設を含む管内39事業所に対し、査察を実施する予定です。

また、泉佐野市りんくう消防署空港分署は、平成16年6月2日(水)、3日(木)、4日(金)の3日間、関西国際空港株式会社が中心となって実施した教育訓練に協力参加した。

この訓練は、多数の旅客が利用する関西

国際空港の防火意識の高揚と初期消火技術などの向上を目的として関西国際空港株式会社が例年実施しているもので、参加者は3日間で104事業所129名が参加しました。

訓練では、消防設備の維持管理と自主点検要領に関する講習を受けたのち、泉佐野市りんくう消防署内に併設されている泉佐野市防災学習センターにおいて、地震、煙及び初期消火などの体験を行いました。

また、実際の火災に備え、屋内消火栓や消火器の取扱訓練を実施し、参加者達は



「空港を利用する人達の命を守ることも私たちの大事な仕事だ」と真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

[▲このページの上に戻る](#)



郡上地区危険物安全管理講習会

岐阜県 郡上市消防本部

郡上地区危険物安全協会(事務局 郡上市消防本部)では、郡上市内の会員(121事業所)を対象に毎年危険物の安全管理に対する講習会を実施しています。



今回は、平成16年6月11日(金)に13時30分から16時00分まで、地下タンクからの油の流出事故を想定し、事故発生時の関係機関や事業所の対応方法を警察、建設事務所からアドバイザーを招いてパネルディスカッション方式にて実施しました。